



地域が元気～多彩なグループ活動～

地域活動の紹介

自分で選ぶ医療と介護の会

(通称SSCC)代表 栗原 誠

みなさま、こんにちは！あなたはいま、自分や家族の健康について自信がありますか？また、もし病気になったり介護が必要になったらどうしようと考えていますか？

もしかしたら、一人で悩んでしまうこともあるでしょう。最近の世の中では、自己選択とか自己責任とよくいわれます。

しかし、このためには“氾濫している情報から何を選択すればよいか”ということが重要になってきますが、いざというとき、自分が必要とする情報が本当にこれでよいのか？などと迷ってしまうこともあると思います。

「行政の流れは？」「医療・介護現場の状況は？」等々たくさんのテーマがありますね。医療・介護の制度やシステムも日々変化しています。スピードがまさに速いですね。私たちSSCC会員は、そのスピードに少しでも対応できるように情報を提供し、意見交換を重ねて情報を共有化しています。さらに会員相互の親睦も大切にしています。

定例会は奇数月の日曜日の午前中に行っています。場所はその時によって変わりますが、飯田橋の「東京ボランティア活動センター」を中心に開催しています。会の終了後は昼食を共にしながら、みなさまと共に語りあっています。会員は約20人。

最近行ったテーマは、9月に『医療制度の動向』と題して高齢者の医療費負担増などを話し合いました。医療・介護保険の制度や患者さん自身の体験からも学んでいます。例えば7月例会は『もしもあなたがガンと診断されたら』の岩城喜代太さんの講演でした。また11月例会は19日(日)『成年後見制度について』3人の講師を予定しております。

これらのテーマは、私たちの活動の軸であるジェロントロジーの実践でもあります。講師から提供された内容を自分に当てはめて考え、十分に熟知してから友人などに伝えていただいています。

今は健康でも明日、疾病に遭遇するかもれません。高齢者にとって医療・介護の問題は最も身近で大切な情報です。また、SLAとして活動



7月23日岩城先生のガンのお話

する際に、健康などへの質問に答えることも多々あると思います。

健康は自分でつくるもの。そして健康をみんなで享受すること。また不幸にして病になったら何が最も良い選択なのか皆で考え、ヒントをもらうなど、医療・介護についての話題はつきません。

ぜひ、みなさま方と情報を共有して、自分の人生を「ゲーと生きて、ストーンと・・・」と大往生したいですね。とかく暗い話になりがちですが、難しい話であっても楽しく、そして大らかに進めていければと思っています。医療・介護に興味のある方は是非ご参加下さい。協会からの広報やホームページでスケジュールなどをお知らせしています。



昨年11月 SSCC 公開講座

